

十月も四電前行動



白川よう子さんを国会へと有志の会も結成された金曜日参加者は、9月24日も、四国電力本

店前で「再稼働反対」「瀬戸内を汚すな」とコールしました。日本共産党の藤沢やよい高松市議が参加。福島原発への思いや再生可能エネルギーへの転換を求めて発言しました。10月も引き続き、金曜日の午後6時から、三越前で「原発をなくす会」としてスタンディングをしたのち、四国電力本店前でリレートークします。1・8・15・22・29日

日本共産党の気候危機を打開する提言がパンフレットになりました

好評発売中

「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」

☆日本共産党中央出版局
☆220円
☆ひかり書店まで
087(834)7311



ハリー・ライムの映画案内

テーマ【医療従事者】 『パッチ・アダムス』(98年米)

【監督】 トム・シャドヤック
【出演】 ロビン・ウィリアムズ モニカ・ポッター

そこを訪れる庶民の人生模様と通称「赤ひげ」と呼ばれる所長と青年医師の心の交流を描く。『白い巨塔』(66年)。山崎豊子の同名小説を、山本薩夫が監督した、医学界の腐敗を暴く大作。「人の命を救うはずのメスが、野望のためにみがかれる！」医学界の封建的な人間関係、派閥抗争などを、野望に燃える浪速大学医学部第一外科助教、財前五郎を中心に描く。『ディア・ドクター』(09年)。過疎の進む小さな村で住民から信頼され慕われていた一人の医師を巡って巻き起こる騒動を描いたヒューマン・ドラマ。おすすめは、『パッチ・アダムス』。ロレン・ウィリアムズが、実在の医師に扮した感動のドラマ。「ユーモアによる治療」という説を実践し、医学界の常識をくつがえした医学生パッチ・アダムスの半生を描く。自殺未遂をして精神科入院したアダムス。彼はそこで一念発起して医学の道を目指す。2年後、ヴァージニア大学の医学部に入学したアダムスは、患者をユーモアで楽しませるという治療を行っていた。冷ややかな視線を向ける学部長や同僚をしり目に、恋人とともに、夢に見ていた無料治療院を開設するのだが・・・



決してハッピーエンドの物語ではないが、医師と患者という関係を超越した友情、そして患者との交流の中で医師自身も人間として成長したことを感じさせるラストに救われる。医療や保健所が弱体化し、医療崩壊が現実になっている。自民党・公明党の政権が長年とってきた弱肉強食と自己責任おしつけの新自由主義の政治がもたらした人災である。しかもコロナ後も医療削減にひた走る、異常さ。新自由主義がいかに国民のいのちとくらしを危ういものにしていくのか、だれの目にも明らかになっている。総選挙、冷酷な新自由主義から脱却して、医療従事者の奮闘に報いる社会、ケアにやさしい社会、コロナから国民のいのちとくらしを守る社会、をつくらう。

梁居 来夢

民主香川

定価 月100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町3丁目13-14
☎(087)834-7311

高松で女性後援会のつどい 共産党議席の奪還を

日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補は23日、高松新婦人内後援会主催のつどいに参加し「18年ぶりに共産党の議席を四国で奪還しよう」と訴えました。オンラインを活用し、各地で



「医療現場出身者として、命を守る政治に変えていきたい」と決意を込めました。参加者が「自分が都合悪くなったら国会も開かないのが自公政権です。どうしても国会へ送りたい」「白川さんへの様々な人からの支持が広がり、これまで言えなかった人にも声をかけることができ、応援してくれるようになった」など、四国から

気候変動アクション 幹線道路沿いでスタンディング

開催中の国連総会に合わせて世界の人たちが一斉に気候危機を打開するため欠く国のリーダーたちに具体的な行動を求める世界寄稿アクションが24日、各地で取り組まれました。香川県では脱原発アクションIN香川と有志が高松市の幹線道路沿いでスタンディング行動しました。参加者は「原発も石炭火力も地球の未来に必要な」必要ない」「新しく建てるなら石



「脱原発、脱炭素」への思いを書きしたポードを掲げた女性(62)は「『がんばれ』と声をかけてくれた人もいた。気候変動は待ったなし。原発を地球温暖化防止とって使いたがる人がいるがクギを刺したい」と話しました。みどり・香川の渡辺智子代表(元県議)が参加しました。

愚台教太

24日は全国で「世界気候アクション」が取り組まれました。高松市でも、手書きのメッセージを寄せてスタンディングが取り組まれました。世界気候アクションの原点はスウェーデンの国会議事堂前に座り込んだ一人の少女・グレタ・トゥンベリさんが掲げたプラカードには「気候のための学校ストライキ」▼反応したのは若者たち。その後も毎週金曜日に続けたストライキは「未来のための金曜日」行動として世界に拡散。19年9月には、185カ国で760万人の市民が参加する行動に発展しました。▼日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補は各地のつどいで、党が提案した「気候危機を打開する2030戦略」を手に「読めば読むほど新しい発見がある。まだまだ充実させて、実行させていこう」と訴えます。▼日本の二酸化炭素排出量は世界第5位。それなのに石炭火力発電の増設・輸出をすすめ、原発利用にしがみつくと日本政府。ドイツの総選挙は気候変動対策が最大争点になっていました。「命を大切に政治」が最大の争点になる日本の総選挙。市民と野党4党が結んだ政策提言の一つに「石炭火力から脱却し原発のない脱炭素社会」があるのは頼もしい。気候変動は待ったをかけてくれません